

授業改善等に関する報告書（2023 年後期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2023（後期）英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
EffectiveB(E①)	エドワーズ, マイケル・アンソニー	I was pleased to have a small class of motivated and talented students. The course framework of presentations and lecture note-taking seemed to be a good combination that will continue being used in future. I'm certain that all who participated, benefitted from the course.
EffectiveB(E③)	エドワーズ, マイケル・アンソニー	This beginner-intermediate level class was made up of a mixture of motivation levels. The course framework of presentations and lecture note-taking seemed to be a good combination that will continue being used in future. I'm certain that all who participated, benefitted from the course.
ListeningB(E①)	萩野 敏	クラス指定の少人数必修授業で、受講者は5名だけでした。前期のListeningAに引き続き、どの項目も非常に高い評価を受けました。CALL教室を使った授業ですが、教員側の機器操作の点を含め、毎回の授業を順調に進めることができましたと思います。
ListeningB(E②)	萩野 敏	クラス指定の必修授業で、多くの項目で平均を下回る評価となりました。CALL教室を使った授業ですが、教員側の機器操作の点を含め、毎回の授業は順調に進めることができましたと思います。内容理解度の値が78.3と低めで、難易度が高すぎると感じた学生がある程度いたようですが、前期のListeningAよりは若干改善されており、多様な学生の期待に一定程度は応えられたのではないかと思います。
ReadingB (E④)	大島 幸治	この授業においては英文の「旧情報→新情報」の流れ、また意味のひとかたまりをなすDiscourseの構造を理解することで、筆者の意図するところを正確に理解していく「目配り」を学修することに中心をおいた。これにより、「辞書で調べた訳語をただ当てはめて、日本語として成立していない訳文を書いても平然としている」「英文が何を言おうとしているか理解できないのに日本語に訳せる」といった倒錯した状況から脱する道が開けたものと考え る。 加えて、教室内では学生との対話を重視し、個別の質疑に応答し、解説を加える「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。学生にとってかなり負担が重い授業だったと思うが、真面目かつ積極的に取り組んでくれたことを誇らしく思う。 内容のレベルについて、難しいと受け止めるむきが一部にあるが、授業ではなるべく最新の情報や知見を解説に加え、板書することで関心を高めようと試みた。学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思う われる。
ReadingD	栗田 智子,エドワーズ, マイケル・アンソニー	Though there were just 4 students enrolled, they all completed all assignments and did an outstanding job of listening to the readings as increasing their vocabulary.
Workshop D	大倉 恭輔	授業外での予復習に時間をとってもらえたら、さらなる上達が期待できたと思われ、その点が残念に感じられました。
Workshop E	三田 薫	この授業を通じて「自身の成長が実感できた」というスコアが高いのはうれしい結果です。それは「日常会話レベルに英語が話せるようになった。」「英会話に自信がなかったのですが、最終的にはすらすらと話せるようになったなど実感できることが多くなりました。」といったコメントからも読み取れます。これからもオンラインの英語コミュニケーションを積極的に続けてください。
Workshop F	三田 薫	この授業を通じて「自身の成長が実感できた」というスコアが高いのはうれしい結果です。それは「チャットGPTの使い方やDMM英会話など有効に使えた」「発音が違う時に先生と一緒に確認しながら読んでそこで知れた単語も多くて使う機会が増えたので良かった。」といったコメントからも読み取れます。これからもオンラインの英語コミュニケーションを積極的に続けてください。

〔2023（後期）英語コミュニケーション学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
WritingB (E①)	大島 幸治	この授業においては、文法的に破綻したブローケンな英語による会話ではなく、意図するところを正確に表現できるよう英文法の基礎知識の基盤を固めることに力を置いた。「和文英訳」方式の課題プリントについて、いくつもの翻訳例を提示し、そのニュアンスの差異について詳細に説明を加えた。また「日本語表現を英語にする」という際に、英語にできるような「何がどうする、何がどうである」といったNP→VPの基本構造を整理することを重視した。また「生のままの日本語」を英語に置き換えるという発想をやめ、客観性をもった情報やメッセージへと整理するという、「和文和訳」の作業に時間を割いた。 これは、英語学を専門的に学習するための橋渡しになるべく、英語表現について高校レベルより数段踏み込んだレベルで詳細な解説を行うことを目指したものである。そのため毎回、新作のオリジナル・プリントを作成し、授業に臨んでいる。 学習効率を上げるため、課題英作文については、前期と同様に複数の解答例とその分析をmanaba上に提示した。授業では、どのような視点で英作文するかに加え、関連する文法知識について黒板に詳細に書いて説明する形式を今年度も採用した。その上で、板書する内容をカバーした解答・解説をmanaba上に提示し、自宅での復習の便宜を図った。このようなローテーションで授業を進め、自学自習を促した。 後期WritingBにおいては、前期で学習した詳細な文法的知識を踏まえ、和文英訳方式の英作文に加えて、英語による論述、イラストを見て自由に英語で解説するなどの実践的な英語運用の演習を試みた。これによって学生の英文writing力はかなり鍛えられたと思う。 さらにこの授業は英作文の基本を学習するための授業であるので、日常生活に必須の語彙を充実させることを目的に、毎回プリントを配布し、指定の範囲について毎回小テストを実施するというを行なった。また学生の学習と資格取得へのモチベーションを高めるため、そのニーズについて、これまで授業内で学生から取材してきた結果を反映して、後期Writing Bクラスでも、英字新聞を読んで情報収集できるよう、時事単語学習のためのプリントを作成し、配布した。与えられた課題について、学生は概ね積極的に取り組んだと思う。 加えて、教室内では学生との対話を重視し、英作文の作業に取り組む学生に個別の質疑や解説を加える「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。学生からの質問や追加で補足してほしいとあがってきた情報について、プリントをさらに追加・配布するなどの対応を行っている。前期に引き続き内容のレベルについて、難しいと受け止めるむきが一部にあるが、復習する際に困らないためのサービスを提供していることにより理解を深める効果をあげているものと思われる。これにより学習内容について、十分な確認と知識の定着が図れたものと考ええる。授業中にわからないところは自由に質問するように言っているので、学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思われる。学生にとってはかなり負担の重い授業だったと思うが、積極的に取り組んでくれたことを誇らしく思う。
WritingB (E②)	大島 幸治	この授業においては法的に破綻したブローケンな英語による会話ではなく、意図するところを正確に表現できるよう英文法の基礎知識の基盤を固めることに力を置いた。 授業では、どのような視点で英作文するかに加え、関連する文法知識について黒板に詳細に書いて説明する形式を今年度も採用した。その上で、板書する内容をカバーした解答・解説をmanaba上に提示し、自宅での復習の便宜を図った。 加えて、教室内では学生との対話を重視し、個別の質疑に応答し、解説を加える「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。学生にとってかなり負担が重い授業だったと思うが、真面目かつ積極的に取り組んでくれたことを誇らしく思う。
WritingB (E③)	大島 幸治	この授業においては法的に破綻したブローケンな英語による会話ではなく、意図するところを正確に表現できるよう英文法の基礎知識の基盤を固めることに力を置いた。 授業では、どのような視点で英作文するかに加え、関連する文法知識について黒板に詳細に書いて説明する形式を今年度も採用した。その上で、板書する内容をカバーした解答・解説をmanaba上に提示し、自宅での復習の便宜を図った。 加えて、教室内では学生との対話を重視し、個別の質疑に応答し、解説を加える「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。学生にとってかなり負担が重い授業だったと思うが、真面目かつ積極的に取り組んでくれたことを誇らしく思う。
WritingB (E⑤)	藤原 正道	WritingAも通して1年間で今までの復習から応用までを行ってきました。英文法の基本知識が身につけていけば、幸いです。
アニメ・マンガ英語	武内 一良	アニメや漫画が題材なのでとっつきやすい科目ですが、それにしてもある程度英語の力がないと面白味が伝わらない可能性があります。いずれにせよ、英語により身近に感じてもらえたらいいかなと考えています。

【2023（後期）英語コミュニケーション学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
イギリス文化事情	太田 祐子	このクラスでは皆さんが毎回授業に大変真摯に取り組むことで歴史的背景を踏まえた現在のイギリス文化全般についての理解と知識を深めることができ良かったと思います。皆さんの発表内容も充実し、各回の提出物の内容も回を追うごとに進歩が見られました。これからも異なる文化について問題を発見し、知識を深めることができる授業になるよう努力していきたいと思います。
オーストラリア文化事情	三田 薫	この授業を通じて「自身の成長が実感できた」というスコアが高いのはうれしい結果です。それは「オーストラリアについて歴史、政治などより深く、知らなかった知識を得ることができて良かった」（異文化理解力）や、「レポート提出することで、書く力・考える力がついた。」「（行動力）」といったコメントからも読み取れます。これからもオーストラリアについて学ぶ機会を積極的に利用し、現地を訪れてみてください。
ホスピタリティ論	武内 一良	この科目は、観光関連業界におけるサービスから始まり、最終的には学生一人ひとりが自分の人生を大切に思う気持ちへとつなげていくものになっています。この授業を終えて、自分がどのように考え、どのように行動すれば幸せに生きていけるのか、一つの指針になれば幸いです。
ホテル実務	杉本 裕	本授業の到達目標は、ホスピタリティを理解しホテルの複数の職務を知ること。分析結果を見ると理解度は概ね良好で授業の目的は達したと感じた。しかし、小テストを実施したが、事前・事後学修の時間がシラバスより少ない結果となり、より興味を深堀させ成長実感を感じるための課題提出の工夫と改善が必要だと感じた。
マーケティング	大倉 恭輔	統計データを扱うのは大変ですが、それができるようになると。世の中のいろいろなことの見え方が変わります。これからも頑張ってください。
レストランマネジメント	杉本 裕	本授業の目標は、コミュニケーション力を高め、レストラン経営に必要な知識と技術を知ること。分析結果を見ると経営について知ることが出来たとの回答があり概ね本授業の目的は果たせたと感じた。しかしシラバスではグループワークを設定したが、履修者数が少なく授業展開が難しい面もあった。今後は授業内容の再考が必要だと感じた。
英語音声学B	萩野 敏	「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が67%ほどで、強い学習意欲を持った受講者が多数を占めました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が多かったと感じています。配付資料への満足度の平均は4.94と、とても高い値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んでいければと思います
英語学B	藤原 正道	さらに良い授業にするために、益々の改善に務めていきます。
英米言語文化論B	萩野 敏	「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が6割を切り、前期科目「英米言語文化論A」よりやや少なくなりましたが、それでも学習意欲の強い受講者が過半数を占めていました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が多かったと思います。総合満足度の平均は4.67と、とても高い値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んでいければと思います。
基礎演習（①）	大倉 恭輔	わからないことはどんどん質問し、また地道に作業をこなすことを覚えてほしいと感じました。先行研究・参考文献を3-5点探すという課題も、基礎中の基礎と捉えてほしいと思います。今後のご健闘を願っています。
基礎演習（②）	武内 一良	大学での学習方法と論理思考を身につけることが主要目的の科目のため、とっつきにくい一面がある科目です。そのような特性の科目ではありますが、全体的にはまずまずの結果が得られたのではないかと思います。
基礎演習（③）	萩野 敏	前期の「実践入門セミナー」を引き継ぐ担任クラスとして開講されている科目で、大部分の受講者は指示された作業を適確にこなし、よく頑張ったと思います。回答者が少なめでしたが、総合満足度の平均は4.67と昨年度とまったく同じ高い値でした。「自分の成長が実感できた」という回答が多く、この科目に求められる役割はほぼ果たせたのだらうと思います。
研修プレップ英語	エドワーズ, マイケル・アンソニー	The four students enrolled in this class did a great job of following instructions and taking part in the writing process. They all improved in producing formatted, clear-to-understand paragraphs.
卒業演習B	萩野 敏	総合満足度の4.71や「自分の成長を実感できましたか」に対する4.86など、全体的にとっても高い評価を得ることができました。これが本学での最後の卒業演習になりましたが、これまでになく質の高い受講生に恵まれ、教員も学生とともに大いに満足のできる演習が運営できたと感じています。

[2023（後期）英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
卒業演習B	藤原 正道	英語と日本語の丁寧さへの理解と、表現が身についていれば、幸いです。
卒業演習B	大倉 恭輔	地道に取り組むことの重要性を身につけられると、さらによいと思います。
卒業演習B	エドワーズ, マイケル・アンソニー	This class covered a large amount of historical information in a short period of time (1778-1893). There was a lot reading (in English) and I'm proud of the ladies for taking it on.
卒業演習B	武内 一良	アンケートの回答者が少ないため全体的な印象は分かりませんが、概ね高い評価を得ることができうれしく思いました。
卒業演習B	三田 薫	この授業を通じて「自身の成長が実感できた」というスコアが高いのはうれしい結果です。それは「チャットGPTやアプリを使ってまとめたり説明したりする力が身についた。」「パソコンやAIの使い方を学べた、色んな人と交流することができた」「楽しくカルタもできたし、ストーリーを作れたので良かったです。」といったコメントからも読み取れます。これからも新しいことに挑戦し、またいろいろな世代の人と積極的に関わりながら社会で活躍してください。
発音演習B	藤原 正道	少し説明のわかりにくさがあったのが改善点です。 今後もよりよい授業にしていきます。